

(株)アグリヘルシーファーム

丹波篠山市

委託先：就労継続支援B型事業所

主な作業内容

丹波黒枝豆の枝切り、あぜの草刈り



適性を熟知した支援員と作業内容を見極め、 農福連携で社員が注力できる業務範囲を拡大



「アグリヘルシーファーム」は、丹波篠山でしか作れない農作物にこだわり、コシヒカリや特産の黒大豆など、作付面積約90haにおよぶ大規模農業法人です。中でも黒大豆の収穫作業では、9～10月の枝豆収穫から12月にかけて忙しさがピークに達すると言います。

社員に福祉事業所の勤務経験者がいることもあり、以前から農福連携に関心を持っていた代表取締役の原智宏さんは2021年10月、インターンシップを利用して丹波市でさまざまな就労支援事業を手掛ける福祉事業所と

タッグを組むことにしました。

「企業経営体としてお互いに発展していく」という方向性を共有。繁忙期の10月は黒枝豆の収穫や草刈りなど、ほぼ毎日約10名の利用者が気持ちのよい汗をかきながら頼りになる戦力になっています。同社では、都市部でスポーツ活動に参加する子どもたちに自社産米のできたておにぎりをキッチンカーで提供する新事業をスタート。事業領域の拡大に社員が注力できる環境を整えるためにも、農福連携は欠かせない存在です。

作業上の工夫点や報酬について

インターンシップの作業体験を通じて、利用者の適性を熟知している支援員と相談しながら、できる範囲を見極めることが大切です。当社では刈払機を使った草刈りも行っています。

報酬は、収穫作業は時間給、草刈りは10a単位で設定しています。障害者というバイアスを外し、労働内容に応じて適正な賃金を払うという考え方に賛同する事業所と組めたのがよかったです。



(左から) 代表取締役の原智宏さんと
福祉事業所勤務経験がある藤本浩志さん

(2024年2月取材)